



## 南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では昨年3月、「沖縄21世紀農林水産振興計画」を策定し、おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化、農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化等の施策を掲げ、「持続的農林水産業の振興」及び「フロンティア型農林水産業の振興」等を図ることとしています。

一方、国においては、同年12月、「農林水産業・地域の活力創造プラン」をとりまとめ、農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設など「産業政策」と「地域政策」を推進することで、創意工夫に富んだ農業経営者が存分にチャレンジできる環境を整備するとともに、地域一体となって農業・農村の多面的機能を維持・発揮し、食料自給率の向上と食料安全保障を確立し、「強い農林水産業」を創り上げることとしており、まさに日本農業の大変革期を迎えております。

南部農業改良普及センター管内の農業は、消費者ニー

ズに即応した作物の生産振興に取り組んでおり、さとうきび、養豚をはじめ、花き、乳用牛、鶏、肉用牛、かんしょ、葉たばこ等が盛んで、これらの品目を柱としながら、拠点産地を中心とした産地の形成拡大を基本的な振興方向としております。

このような中で、担い手の育成確保や栽培技術の高位標準化、生産・出荷体制の強化、生産コストの削減、作業の省力化、環境に配慮した農業生産の実現、農地流動化での規模拡大、防災農業の確立など課題は山積しております。このような状況を踏まえ平成26年度は以下の課題に重点的に取り組みます。



### 1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などを支援します。

### 2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、甘しょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの増産、畜産の生産供給体制の強化などを支援します。

### 3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取組みを強化します。

### 4. 地域資源活用による農村振興

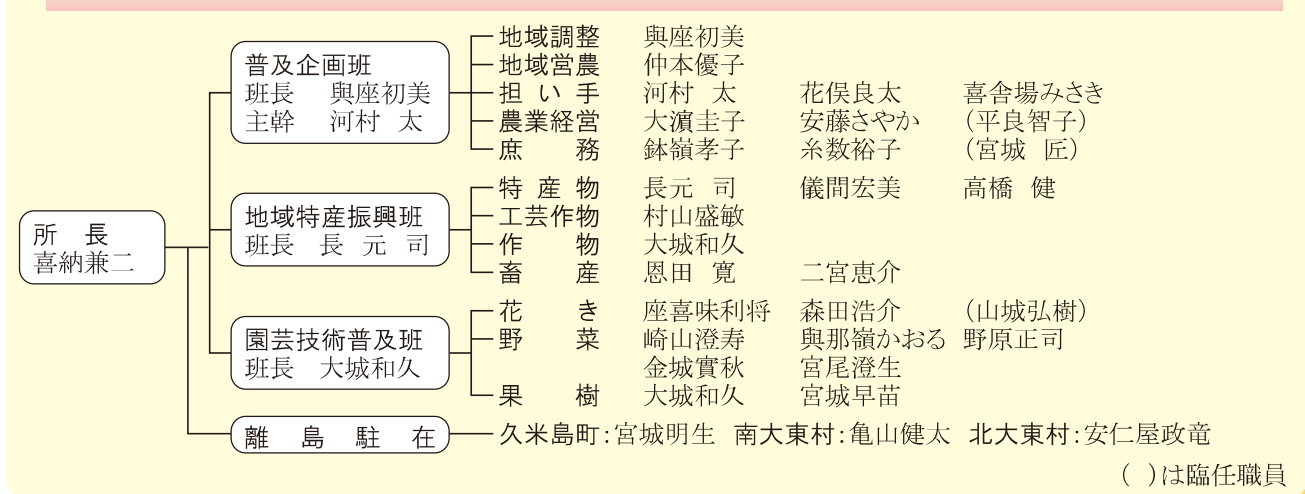
地産地消の推進、都市・農村の交流による農村の活性化、地域特産物の活用、島野菜の産地化を支援します。

これらの課題解決に当たっては、生産農家をはじめ、市町村、JAの関係機関・団体と密接に連携し、特に展示ほや講習会、視察研修等現場主体の手法を中心に取り組む所

存であります。関係者の皆様には、今後とも農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い致します。

南部農業改良普及センター所長 喜納 兼二

## 平成26年度 南部農業改良普及センター活動体制



( )は臨任職員

# 受けてみませんか、土壌の健康診断を!

～平成26年度土壌検診！6月13日受付〆切りです！～

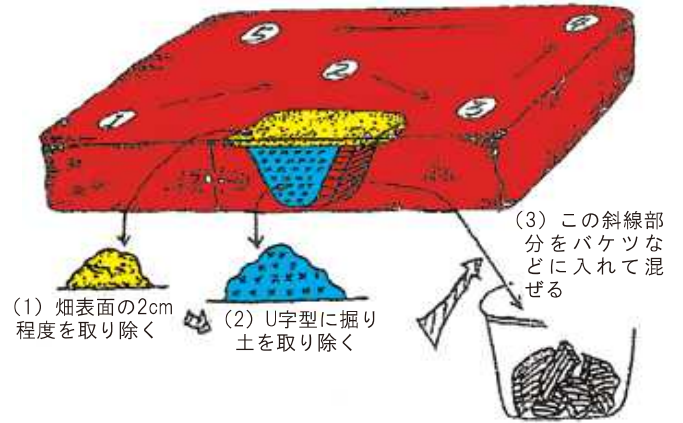
## 1 土づくりの意義について

近年、消費者の食の安全・安心に対する関心の高まりとともに、エコファーマー・特別栽培・GAP(農業生産工程管理)など環境に配慮した農業がますます求められています。

そのためには、作物本来の『基礎体力(樹勢)の維持による健全な生育』が前提であり、畑の健康状態を知ることは、「品質向上・増収」のみでなく「減農薬」等の対策においても非常に重要です。

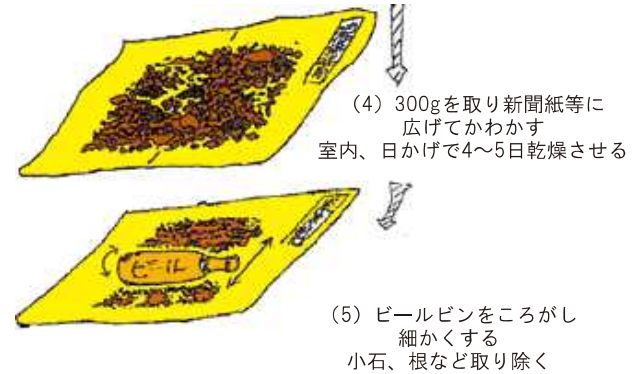
ちなみに平成25年度には南部管内において、908点の土壌分析を実施いたしました。

## 3 分析土壌の取り方



### ◆平成26年度土壌分析日程◆

- (1)受付〆切日
- ・南部地区(久米島除) 6月13日(金)
  - ・久米島 5月30日(金)
- (2)土壌分析日時
- ・南部地区(久米島除) ①6月24日～6月27日  
②6月30日～7月7日
  - ・久米島 6月9日～6月13日
- (3)対象地区 南部管内全般
- (4)分析結果返却予定 7月下旬頃



## 2 分析項目について

以下の8項目について分析します。

【分析項目】	【単位】	【項目の意味】
		【数値から判ること】
土壌酸度 (pH)		肥料の溶け具合を左右 (作物毎の適正值) 土壌中の酸度、養分の吸収に影響する
電気伝導率 (EC)	ms/cm	水に溶けた肥料濃度 多施肥や塩類集積等の目安
陽イオン交換容量 (CEC)	me/100g	土壌の胃袋の大きさ 保肥力の大小
腐植	mg/100g	土の生産力のもと 土質の改善や微量要素の補給
交換性石灰 (CaO)	mg/100g	交換性陽イオンのカルシウム量 タンパク質合成や細胞壁合成に関与
交換性苦土 (MgO)	mg/100g	交換性陽イオンのマグネシウム量 光合成に関与
交換性加里 (K <sub>2</sub> O)	mg/100g	交換性陽イオンのカリウム量 作物体内の機能調節に関与
トルオーグリン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	mg/100g	根酸で溶けるリン酸量 生長・エネルギー代謝に関与

## 4 土の提出方法

- ①所定の「**土壌サンプル票**」に記入のうえ、土と一緒に提出する。(下記をご参照ください)
- ②分析件数に限りがあるため、**必要最小限の点数**を提出する。
- ③土壌サンプルの提出はJA各支店へ行う。  
診断結果配布も**JA各支店(生産部会等)**を通して行う。  
(JA生産部会員・組合員以外については南部農業改良普及センターにおいても受付しております。)

**名前をお忘れなく！ 自宅の住所 どの土を取ったかわかるように記入**  
(例) 後方ハウス、山川A、など

**土壌サンプル票 (記入例)**

①【耕作者名】 南部太郎	【住所】 南風原町山川517	【畑場所】 ●●-1など
②土壌の種類 (国頭マージ・ジャーガル・島尻マージ)	【連絡先(TEL.)】 000-123-4567	
③作物名 マンゴー	【次期作物】	④栽培形態 (露地/施設)
⑤作物生育状況 (良好/悪い)	※病害の軽いなど記入	
⑥その他 土壌の問題などあれば記入 水はけが悪い。容土あり	【受付機関】	土壌サンプルを受けた者が記入 普及センター 宮城

(園芸技術普及班:宮城早苗)






マンゴー栽培技術情報

# 備えあれば憂いなし…台風対策！

台風シーズンがやってきました。近年、たび重なる台風により多くの被害を受けています。万全な対策で被害を最小限に止めましょう！今回は台風被害による病害と施設で

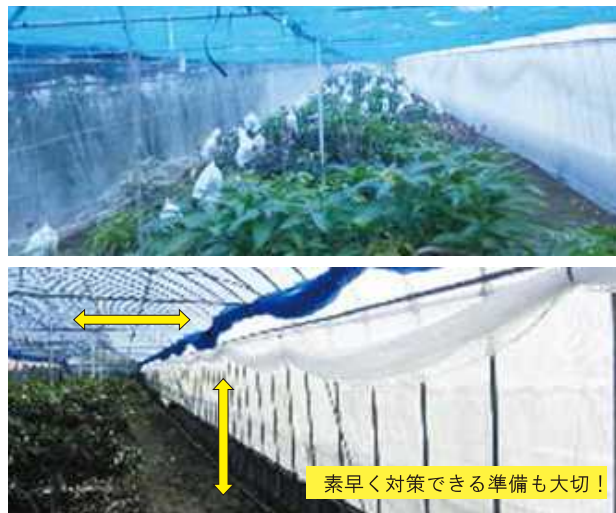
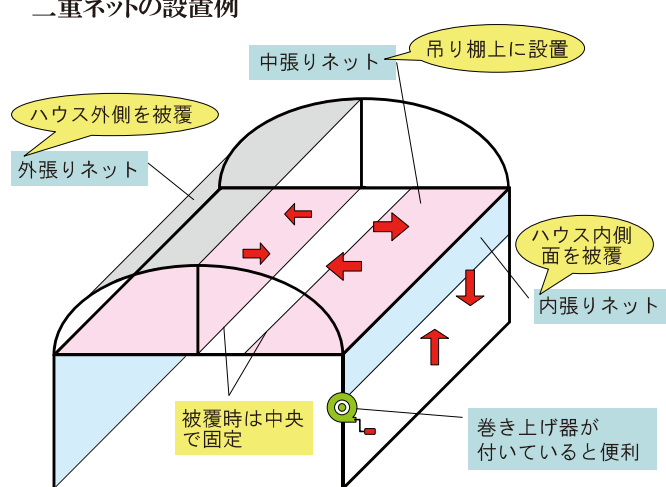
の二重ネット被覆による台風対策を紹介します。

### ◆台風被害

<p>①落葉、枝枯、樹勢の低下、塩害等</p>   <p>成木(↑)及び幼木(←)での被害状況。</p>	<p>②かいよう病 葉や果実、枝幹を侵す病気。</p>  <p><u>葉</u>: コールタールのように盛り上がり角張った黒斑が出る。 <u>枝、幹</u>: 亀裂からヤニが出る。 <u>果実</u>: 黒斑に裂け目が出る。</p> <p>※台風前のICボルドー66Dの予防散布が重要です！！</p>	<p>③枝枯細菌病</p>  <p><u>葉</u>: 葉柄から主脈に沿って黒色化、枯死。 <u>枝</u>: 緑色枝が褐～黒色化、病葉は落葉しない。</p> 
---	---	---

### ◆施設対策～二重ネットの設置～ 防風対策は果樹栽培の基本です！

#### 二重ネットの設置例



(注)紹介した二重ネットによる台風対策はある程度風に耐えられるハウス強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。

- 補強例)・足場パイプで3mおきのアーチに追加補強  
 ・3m間隔で中央に支柱を立てる。  
 ・前後の妻面と支柱をクランプで接続。

※ネット設置により、風速は6割程度に抑えられますが、二重ネットにする事で台風被害を4～3割程度まで抑制することが確認されています。(『ネットを利用した風環境対策-沖縄県園芸施設保守管理マニュアル(平成25年3月 沖縄県農林水産部)』より抜粋)

### ◆事前対策◆

- ・防風ネット設置・ハウス補強(必要があれば)・ICボルドー66D散布

### ◆事後対策◆「台風通過後、早急に!」

- ・塩害対策→樹全体に散水(停電も考慮し、動力ポンプの準備も検討しましょう)
- ・高温対策→ハウス換気(台風後は急な高温が予想されます)

(園芸技術普及班:宮城早苗)



## 春植え（3月上旬～5月上旬植え）かんしょの適期管理について

### 沖縄における春植えの作型は？

かんしょは南米が原産地といわれており乾季と雨季のあるサバナ気候に属しています。そのため雨季に地上部を繁茂させ、乾期に地下部の塊根を肥大させる性質をもっています。

この性質から沖縄では梅雨の雨を利用し、地上部を繁茂させ、梅雨明け後の乾燥期に塊根（いも）が肥大する春植えの作型がもっとも栽培しやすい作型です。また台風の影響を受けにくい作型です。

### 1. 苗作り

春植えでは、すでに終了した作業ですが、露地育苗は、前年度の10月に果肉の色乗りが良く病気の無いいもを伏せこみ、萌芽した芽を増殖します。冬場（11月～2月）に育苗する場合はビニール被覆による保温が必要です。年1回の苗床を作ることで病気の抑制、特に紅芋での色乗りの改善、収量が増加します。また花が咲かず、生育が揃う利点があります。（収穫前の地上部のつるを苗にするのは、病気の伝染、色乗りの低下、苗質の低下につながりNGです。）

・ 2013. 4. 16 苗床作成  
・ 施肥とプリンスベイト粒剤すじまき

・ 農薬、肥料 土壌混和+植溝作成

・ 2013. 6. 6（伏せ込み後46日）  
第1回苗取り  
・（77本/0.49㎡）＝株苗本数4620本/30㎡

・ 伏せ込み終了

・ 殺菌剤の粉衣（種いも重0.3%の量）の後、溝に並べる

### 2. ゾウムシ類、虫害対策

プリンスベイトを畝立て時に土壌混和している場合は、3カ月間薬剤の効果が継続します。

元肥と同様に畝ごとの量を計量し、筋蒔きした後畝立てを行います。また、畝立て後の手作業による土壌混和もOKです。

植付け後、3ヶ月を超えた場合はゾウムシ類の被害程度により、成分の異なる他の粒剤（ガゼット粒剤、オンコル粒剤、ダーズバン粒剤等）を加えることができ、被害抑制期間を伸ばすことができます。夏場はゾウムシ類の活動が活発なため防除が遅れないよう注意します。また、収穫後の残渣処理は確実にを行い増殖源を断って下さい。

### 3. 生育期間中の灌水

かんしょは植付け後2カ月の地上部が繁茂するまで、多く

の水を必要としますが、それ以降も地下部の肥大期も葉がしおれない程度の水分は必要です。

### 4. 収穫後の管理

春植えは沖縄で有利な作型です、収穫後は高温条件（9、10月）のため、いもからの萌芽、デンプンの糖化が進まず、甘みが少なく、紛質のいもとなり易いです。また収穫後の病害の発生も多くなります。そのため晴天時の収穫を行い、収穫、調整後は風乾等によりよく乾燥させることが重要です。

現在は収穫後、約2週間で販売が行われていますが、一部で品質面の課題も見受けられます。春植えの作型におけるかんしょの保存技術確立による品質の維持・向上技術が関係機関で取り組まれています。

（地域特産振興班：大城和久）

ハーベスタ収穫後の株出し管理作業で省力化・増収

## 必見!株出し管理実証展示圃の紹介

南部地域のさとうきび収穫面積のうち75%が株出し栽培です。また、農家の高齢化や労働力不足から、さとうきび収穫の機械化が広まっています。今後ますますハーベスタ収穫の増加が見込まれるため、さとうきび増産を図るためには、これらハーベスタ収穫圃場での単収をあげるための適切な管理をする必要があります。

南部農業改良普及センターでは、八重瀬町、JA、製糖工場、さとうきび生産振興対策協議会と連携して機械収穫後の適切な株出し管理技術について実証するため、3つ管理方法を比

較する展示圃を設置しています。

試験区は下図のとおりを設置し、各作業の目的は図のとおりです。



図. 展示圃の処理区

### 株揃え機



- ・葉ガラを除去し株元に日光がよく当るようになる。
  - ・補植時の萌芽が見やすくなり、早期の補植が容易になる。
  - ・株の高さを低く揃え、株上がりを抑える。
  - ・高培土がしやすくなり、次期収穫ロスも少なくなる。
- ※ハーベスタ収穫後、できるだけ早く実施する。

### サブソイラー



- ・心土を破碎し水はけが良くなる。
  - ・根切りをすることにより、根の発生が促進される。
- ※株揃え作業と同時か直後に行う。

### 施肥 & 中耕ロータリ



- ・土を柔らかく耕し、根の成長を促進する。
  - ・株の広がりを適度に抑える。
  - ・施肥後に中耕することで肥料成分が根に届きやすくなる。
- ※上記作業後、土壌表面が乾いてきてから行う。

現在、糸満市座波の展示圃場にて実証試験中です。株出し管理のヒントにいかがでしょうか？



※地図アプリにGPS情報を入力するか、図内のQRコードを読み取るとケータイで位置が確認できます。

## ～南部地区農業青年クラブ連絡協議会定期総会の開催～

平成26年度南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が5月16日(金)に開催され、クラブ会員15人と関係機関が集まる中、全ての議案が承認されました。

新会長となった宮城孝光氏(南風原町農業青年クラブ)からは、「みなさんが参加していただけるよう、魅力ある活動を引き続き実施していきたい。皆さんの協力もお願いします。不慣れではあるがよろしくお願いします。」とあいさつがあり、抱負と参加者へ今後の参加を呼びかけた。平成26年度はプロジェクト発表において九州大会出場があり、クラブ員の機運が盛り上がっています。



### 新役員紹介



会長:宮城 孝光氏  
(南風原町農業青年クラブ)



副会長:杉本 雄靖氏  
(糸満市農業青年クラブ(予定))



事務局長:与那嶺耕太氏  
(南風原町農業青年クラブ)



理事:小田 哲也氏  
(南城市農業青年クラブ)

## プロジェクト活動～南部地区が先進地区と言われて4年目の挑戦～

南部地区農業青年クラブは、農業青年の資質向上や組織活性化の1つとして、プロジェクト活動を推進しています。プロジェクト活動とは何か？一言で言うと、「日常の営農や生活における問題を発見し、その問題を解決する為の目標を定め、問題解決について計画し、自分(達)の責任において合理的に実施し、これをとおして農業改良に関する知識と技術を身につける実践的学習活動」です。う～ん難しいですね。一言でもないし。では、実際に昨年度取り組んだ個人プロジェクトの事例を紹介します。

彼は糸満市で花きと野菜の複合経営行う杉本さん。平成25年度より農大と農家研修で勉強した野菜栽培を本格的に始めました。そんな彼が、インゲン栽培を行うに当たり、1つの疑問にぶち当たったのです。

「摘心の考えがバラバラだなあ？。どれが良いのか・・・」聞き取り等行っても漠然としかわからない難問に普及員と二人三脚で挑戦し、彼は数字で結果を出し、納得いく結論に達し疑問を解消することが出来ました。

このようにプロジェクト活動とは、自身が持つ疑問等を試験研究成果であったり聞き取りで調べ、それでもよくわからないことを実際に畑で調査し、数値として結果を出すことで疑問等を解消していくわけです。なお、調査を通し課題を捉える力、解決する力が養われ今後の農業経営に活かされていきます。これがプロジェクト活動なのです。

さて、皆さんが気になる杉本氏の調査については、平成26年度の沖縄県青年農業者会議の場で報告予定です。目指せ4連覇！！



(普及企画班:花俣良太)

## 久米島農業情報～農業地域活性化のために～

### 1 農業後継者聞き取り調査

農大卒業生を中心に農業後継者聞き取り調査を行いました。

- これまで県立農大へ進学した者が40人おり、就農者が11人(27.5%)農業関係機関従事者13人(32.5%)他産業従事者が各12人(30%)、不明物故者は4人(10%)でした。
- 就農者11人は全員専業農家子弟であり、親からの資金面や農地等の支援があり就農しています。また、新規に就農した者はいませんでした。
- 幼少期から何らかの形で農作業へ参加(手伝い)しており作業の「辛さ」「きつさ」を体で覚えていてそれ以上に農業への「喜び」「楽しさ」を体得し、就農につながっています。
- 年齢が高い者はハワイ研修後に自信を付けてウリミバエ根絶を機に島に戻り就農した者が比較的多かったです。年齢が若い者は一旦は他産業に勤め、数年のうちに就農するケースが多く見られました。
- また、40人のうち24人(60%)は久米島に住み、生活をしていることが分かりました。
- 卒業生は農業委員や家畜人工授精師、部会役員等を担い、農業以外の地域活動として自治会区長や沖縄角力コーチなどリーダー的役割を担っている者が多く、農業振興の側面からの見方ではなく久米島全体を捉えた見方・考え方を持っている方が多かったです。
- これから課題として久米島高校園芸科卒業→農大卒就農者が11人いることから、今後久米島での農業後継者育成はこのケースをモデルとして構築していく方が望ましいと思われます。
- これからの農業後継者育成は収穫や日頃の農作業を今以上に意図的に経験させ、農業に対する楽しさ、うれしさ、喜びを高めるように誘導し、農業後継者として育てて行く必要があります。

### 2 キクのセンチュウ調査

土壌消毒によって防除は確認されたもののその持続的な効果が不明なことからセンチュウ密度調査を実施し、緑肥栽培では、センチュウ密度低減効果が確認されました。

- 緑肥栽培についてはセンチュウ密度が0になり、有益な

自活センチュウの密度が大幅に増えています。それは緑肥栽培により有機物の投入量が増え、有益な土壌微生物層の種類が共に増加したものと思われます。

- また、薬剤処理土壌についてはセンチュウ密度が0になったものの、自活センチュウも少なくなった結果となりました。



青枯れ症調査状況

### 3 パインの生産振興

- 久米島町では熱帯果樹研究会を中心に栽培があります。
- また、パインは農業生産振興と観光(特産品)との接点があり、熱心な生産農家に苗の配布と栽培記録簿の記入を実施し、今後の生産振興について取り組んでいます。



パインの生産振興についての検討会

(久米島駐在:宮城明生)

## 夫婦で築く農業 ～家族経営協定を締結～

### 【大嶺快秋さん綾子さん夫妻】

南城市宇つきしろでトマト、ゴーヤー、サヤインゲン、キュウリの施設野菜を生産されています。

夫婦で農業を始めて26年、身体にやさしい減農薬栽培にも積極的に取り組み、エコファーマー認定も取得されています。平成25年度にご夫婦で家族経営協定を締結しました。これまで農作業は快秋さん主体でしたが、最近は綾子さんもハウス内の湿度温度管理や、葉の状態にも興味を持つようになったそうです。また、お互いの健康面も気遣いながら農業について話し合っているそうです。今後は研修生の受入れや後継者育成にも積極的に力を入れていきたいと話していました。

### 【宮城吉春さん史子さん夫妻】

南城市知念山里でトマト、ピーマン、キュウリ、ゴーヤー、インゲンの施設野菜と露地野菜を生産されています。農業を始めた頃は機械作業、収穫作業など農作業全般を史子

さんがこなしてきましたが、5年前から吉春さんも加わりご夫婦で本格的に農業に取り組んでいます。宮城さん夫妻も平成25年度に家族経営協定を締結し、エコファーマー認定も取得されています。家族経営協定で役割分担も明確にしつつ、普段からそれぞれの意見を出し合いながら栽培技術の習得についても話し合われているそうです。



大嶺 夫妻

宮城 夫妻

(普及企画班:平良智子)

## フレッシュマンの紹介

はじめまして、二宮恵介です。南部普及センターで畜産を担当することになりました。新採用職員で分からないことだらけですが、南部の農畜産業振興に貢献できるよう頑張ります。

(地域特産振興班:二宮恵介)



石垣の農業研究センターから異動してきました、村山盛敏です。さとうきびと農業機械士関係を担当します。初めての分野でまだまだ不慣れですが、さとうきび振興に尽力していきますので、よろしくお願いします。



(地域特産振興班:村山盛敏)

八重山の農林水産整備課から移動してきました喜舎場みさきです。普及はピカピカの一年生ですが、南部普及センターの楽しい先輩方を頼りに、頑張りたいです。よろしくお願いします。

(普及企画班:喜舎場みさき)



この度、園芸技術普及班で野菜(ゴーヤー)を担当させていただきますことになりました崎山澄寿と申します。よろしくお願いします。普及センターおよび野菜は初めてですが、農家の皆様のお役にたてるよう努力していきたいと思ひます。

(園芸技術普及班:崎山澄寿)



4月22日から臨任として園芸技術普及班・花卉担当になりました山城です。力の限りお手伝いさせていただきますので、よろしくお願いします。

(園芸技術班:山城弘樹)



### 定期人事異動 (転出者)～お世話になりました～

- 知念 和子 (退職)
- 平 千恵 (北部農林水産振興センター農業改良普及課伊是名駐在へ)
- 後藤 健志 (農業研究センター名護支所へ)
- 比嘉 良實 (退職)
- 金城 衣恵 (病害虫防除技術センターへ)
- 濱 盛優奈 (病害虫防除技術センターへ)
- 富城 聡 (農業研究センター名護支所へ)
- 玉山 あずさ (中部農業改良普及センターへ)
- 屋 良利次 (北部農林水産振興センター農業改良普及課へ)
- 加藤 智子 (農業研究センター石垣支所へ)